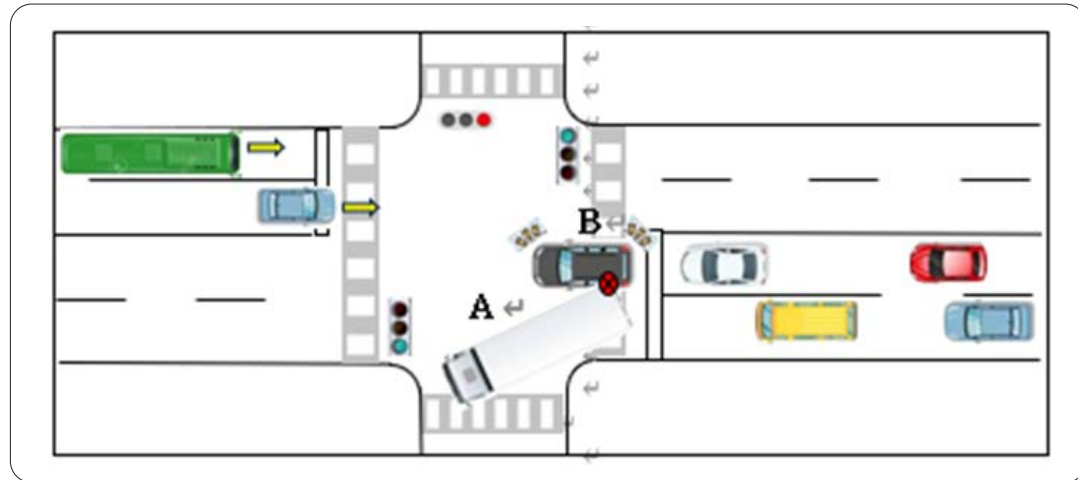


職場における交通安全指導

Part 136

交差点左折の際、オーバーハングの振り出しによる衝突



■事故の概要

●事故の当事者

当事者A（大型貨物車）：30歳代、男性
当事者B（普通乗用車）：40歳代、女性

●被害状況

A：車両右後部凹損
B：車両左側面凹損

●道路状況

片側二車線の国道

事故状況

Aは大型貨物車に乗務して2か月のドライバーである。今までは中型貨物車に乗務していたが、大型免許を取得し大型貨物車の乗務担当になったばかりで、大手インターネット通販会社の物流センターへのセンター間輸送の業務を行っていた。

事故当日は、県内の物流センターに配送する予定だったが、高速道路で事故渋滞に巻き込まれ、予定していた到着時間に遅れてしまい、このままどと間に合わないと焦りを感じていた。

Aは国道から県道に左折するため左折の合図を出して減速を始めたが、信号も青だったことからそのまま急いで左折してしまおうと、左ミラーで側方を確認し、左側には何も映っていなかったため十分に減速せず、一気にハンドルを切り左折したところ、オーバーハングの振り出しによって、右車線にて右折待ちをしていたBに衝突した。

事故の原因

事故の原因は、Aが焦りの心理から、十分に減速せず、右側のオーバーハングの振り出しを確認しないまま、一気にハンドルを切って左折したことです。

安全指導

トラックが左折または右折する際は、横断歩道上の歩行者や自転車に注意するだけでなく、並走車との衝突や、対向車との衝突など、オーバーハングによる事故に気をつける必要があります。

事故を起こさないために次の点に注意しましょう。

①ミラーでの確認を確実に行う

トラックが右左折する際、内輪差とともにオーバーハングを意識することが必要です。

トラックはオーバーハングの分だけ振り出し量が大きくなるので、並走車との衝突や、対向車と衝突する等の事故に繋がります。

右左折の際は、曲がる方向のミラーで内輪差を確認し、反対側のミラーでオーバーハングの振り出しを確認するなど、両方のミラーで安全確認しながら、細心の注意を払い慎重な運転を心掛けましょう。

②左折時には左に寄せる

トラックが曲がる際のオーバーハングによる事故は、オーバーハングの振り出しで車体が大きくはみ出すことが原因です。

オーバーハングの振り出し量が多いトラックは、左折時は左側に寄り、右側へはみ出す量を少なくする配慮が必要です。

ただし、左に寄ることで内輪差による巻き込み事故が発生しないようにミラー等でしっかり確認しながら走行しましょう。

③トラックの特性を理解する

オーバーハングによる左右の振り出しは、ハンドルを切る量が多くなることと、オーバーハングの長さが長くなるほど、振り出し量が大きくなります。特に大型車では1メートルを超えることもあります。

自分が運転している車両の特性を理解しておきましょう。

④広範囲に注意を分配させる

安全な運転は視野を広く取り、多くの情報を認知することで成り立ちます。

ドライバーは注意を分配させることが重要ですが、注意が一点に偏り他が疎かになってしまうと事故を惹き起こします。

Aの場合、左ミラーのみを注視していたため、オーバーハングの振り出しによる事故となってしまいました。

ドライバーは一方に注意が向くと他方は不注意になるということを理解し、広範囲に注意を分配させるように配慮してください。

⑤焦りの心理に注意する

運転行動は、一瞬の交通状況の変化に適切に対応することが求められます。そのためにも、心身の健康維持に気をつけることは勿論のこと、焦りが生まれにくいような平常心を維持できる心のコントロールや、運行計画が必要となります。

日頃から、運行管理者とドライバーとの間で、配送が遅延する場合はどうするのか、渋滞に巻き込まれたらどうするのか、事故や工事等で規定のルートを変更する場合はどうするのか等の対処方法をマニュアル化しておき、不測の事態が生じても焦らず、慌てず落ち着いて安全運転できるよう心掛けましょう。

⑥コメンタリー運転の実践

見落としを防ぐ観点から、目で認知した情報を声に出しコメントしながら運転するコメンタリー運転を推奨します。

「右後方よし」などと声に出すことで、認知ミスを防ぐためには有効な手段として考えられています。

危険だと思うものを声に出していくことで、積極的に危険を探すようになり、見落としや、認知ミスを防ぐことができます。

事故防止のために、積極的にコメンタリー運転を実践しましょう。

車体の大きなトラックを安全に走行させるためには、広範囲にわたっての目配りや気配りが必要です。常に危険を予測した運転を心掛けるとともに、コメンタリー運転を実践し、交通事故防止に努めましょう。